市への意見・要望（令和７年４月分）

（令和７年４月１日～30 日受付分）

受付日	件名	意見・要望の内容	市の回答・対応	担当課
4/15	フリースクールの助成や廃校になった幼稚園の建物について	子どもが不登校になり、色々考えるきっかけとなりました。市のフリースクールも紹介して頂きましたが、親的にはお金の事を考えると市のフリースクールをと思いました。が当の本人は市のフリースクールに行きたいとはならず、民間のスクールを選びました。学校以外の居場所。出来ればもっと日数を通わせてあげれたらと親としては思いますが、フリースクールの利用金額は高く、誰しもが簡単に利用できる金額ではないのが現状です。少しでも助成してもらえる制度があれば、親も子も地域の学校という縛りの中で苦しむことが減るのではないでしょうか。 そして、子ども主体で自ら考え、活動する場所が平日の午前中にあればとも思います。 不登校の親も子も学校のある午前中や行ってる子が下校するまでの間、様々な葛藤の中過ごしています。学校に相談してもなかなか解決する問題でもなく、別室登校等がありますが、まず学校という場所が苦手な子にとってそれは問題外な話です。 私達親としては、学校と家以外に過ごせる場所、それも時間割とかで縛られていなくて、行けなくなった子ども達が自らやりたい事を考えてやる事が出来る場所が市内の廃校となった幼稚園の建物を使ってでもあればと希望します。沢山の部屋、園庭も中には畑もあったり、色々な経験が出来ると思います。 そこで地域のボランティアさんや退職された元先生、様々な大人との関わり、さらには自分だけ不登校じゃない、他の子との関わり、そして、自分の子が不登校になった親同士の関わりが出来ればと思います。 うちの子は民間のスクールに行った際に見た事のないたくましい顔をしていました。ただ経済的には毎日通わすことは難しいです。 そして、私達親子以外に不登校に苦しんでいる親子を通学路や学校の門の前で見る度に本当に心が痛みます。 不登校の子どもとその家族が苦しむ事が少なくなる居場所を民間ではなく、市として出来ないか検討いただきたいです。その為には私も協力できる事があればしたいと思っています。 なかなかすぐ答えの出る問題ではないと思いますが、是非市民の声として関係部署に一度ご検討いただきたく、要望させていただきます。	藤井寺市では、市教育支援センターとして「ウイング」を設置し、学校に登校しにくい児童生徒にとっての学びの場や居場所として、子どもが主体となり自ら考えさまざまな活動を行っています。ウイングの指導員には元教員、協力員には教員をめざしている大学生等を任用しており、児童生徒が個々のペースにあわせた学習活動や生活リズムを整えることなど、社会的に自立できることを目標に支援しています。また、ウイングに在籍している児童生徒の保護者の方には、学期末に懇談会を開催し、保護者の方の思いもお聞きしながら、今後の支援について考えております。さらに、ウイング横には教育相談室を設置し、教育相談員には元校長を任用しております。児童生徒や保護者の方が、学校生活や友人関係、進路関係など気軽に相談できる体制を整えております。 今後もウイングと保護者の方、学校で日々の情報や課題等を共有・連携し、個々に応じた支援を実施してまいりますので、ご理解いただきますようお願いします。 （回答：学校教育課） 昨今の地域コミュニティの変化、子どもを取り巻く環境の厳しさ、価値観の多様化といった状況を背景に、全国各地でこどもの居場所づくりが実践されていたことから、「こどもの居場所づくりに関する指針」として国の考え方が示されました。 このような中、様々な地域では、地域のニーズや特性等を踏まえた多種多様な居場所づくりに取り組んでおられます。 本市におきましては、現時点では具体的にお示しできる内容はありませんが、今後、先進事例となる取組等の情報を収集しながら、関係部局や事業者等と連携し、本市に相応しい居場所づくりについて研究していきたいと考えています。 （回答：子育て支援課）	子育て支援課 学校教育課